



# リニューアルが進む島原半島地域の基幹産業・交流基盤

リニューアルに伴い基幹産業や交流基盤が活性化し、さらなるしごとが生まれ、ひとが育つ地域へと変貌する

## POINT! 我が国国際観光の扉を開いた雲仙

明治期から昭和初期まで、長崎-上海航路が存在。当時、長崎は日本における中国大陸への窓口。上海の英字新聞での紹介を機に、雲仙は避暑地を兼ねた保養温泉として海外に知られることになり、旅客機もなかった昭和2年の段階で、外国人客2万人を超えたという。(ちなみに平成30年の雲仙市における外国人宿泊客実数は3.2万人)

リニューアル前



### 雲仙の宿泊施設が次々とリノベーション

質の高い施設やサービスで、単価の高いお客様を受け入れる宿泊施設のリノベーションの動きが活発化しています。

リニューアル後



### 上質な滞在空間の創出へ

国立公園雲仙の魅力ある景観の創出や温泉街中心部の賑わい空間、インバウンド受入環境の整備が行われます。



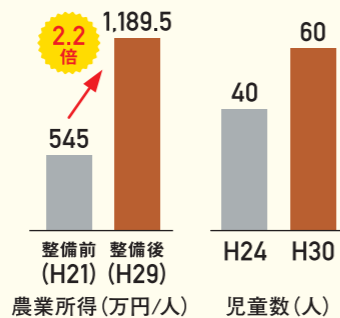
## 島原半島各所で農地の基盤整備事業に取り組んでいます!

農地の基盤整備は、大型農業機械の導入を可能にし、省力化と生産コストを低減。「稼げる」農業を支え、農業が「魅力ある就業の場」へと変わっています。



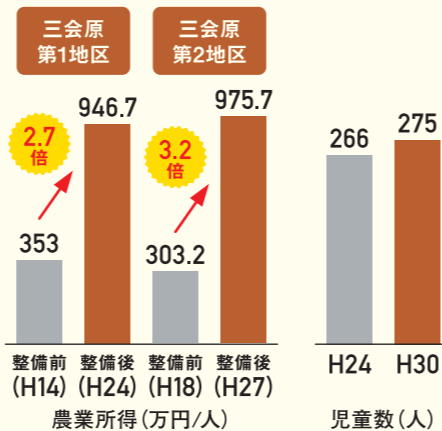
### 雲仙市八斗木地区

担い手1人当たりの農業所得2.2倍  
→児童数150% (平30/平24)



### 島原市三会原第1・第2地区

担い手1人当たり農業所得2.7~3.2倍  
→児童数103% (平30/平24)



## POINT! 島原道路が開通し、交通利便性が格段に向上!

- 地域高規格道路である島原道路の整備により、九州横断自動車道諫早ICまでの所要時間が大幅に短縮されます。
- 観光や救急医療体制の強化はもちろん、島原半島地域の農産物集出荷においても効果を発揮します。

南島原市深江町~諫早IC  
計画約50km・  
供用延長約19km、  
供用率38%(R2.4.1時点)

所要時間  
90分 ⇒ 40分



九州横断自動車道

新幹線開業による諫早駅からの観光客の取り込みを図るため、島原鉄道等を活用した2次交通アクセスの整備にも取り組んでいます。

### 島原鉄道観光列車「しまてつカフェトレイン」の運行



島原半島の食材を活かしたグルメやスイーツを提供。新幹線と島原鉄道を介した交流人口の拡大、地域活性化に貢献。

また、南島原市においては、島原鉄道の廃線跡地を活用した、自転車歩行者専用道路の整備が進められます。

世界文化遺産  
原城跡



## 海の玄関口 口之津港の再編

- 新しい口之津港ターミナルビルが令和2年3月にオープン!
- フェリーやバスの旅客ターミナルのほか、イルカウォッチング、口之津歴史民俗資料館、市役所口之津支所も併設され、世界遺産「原城跡」などを含めた周遊観光の利便性が向上!



## 期待される 相乗効果 連携

- 高速交通体系の充実、産業・交流基盤の強化とそれを生かす「人」と「技術」が備わり、島原半島の観光、農業分野のポテンシャルを引き出し、持続的発展を遂げうる地域へと変貌。

- 整備される産業用地への食品工場などの誘致が進み、当地の農業生産と連携。域内で付加価値の高いフードバリューチェーンが形成される。
- 長崎・西彼地域や県央地域との物流環境の充実で、製造事業所の新增設効果が波及。
- 安定した「しごと」が人口の定着にも貢献し、地方創生のモデル的地位が確立。

## + プラスONE

### + 「人」と「技術」の投入による産業の生産性向上

当地の観光、農業事業者の共通課題は「人手不足」。いずれの産業も繁栄差が大きい非正規雇用依存構造。観光・宿泊のIT導入、スマート農業の導入促進で、労働生産性を高め、ポテンシャルを引き出す必要がある。

### + 産業用地整備、ほ場整備等の産業基盤強化

島原道路の開通により交通環境は大幅に向上。島原道路の開通に併せた産業基盤の強化、産業活動のプレイヤーの育成、強化が求められる。